



学校だより

# 後川

No. 43

令和2年 3月13日(金)発行  
四万十市立後川中学校

## 卒業 おめでとう!



「春風や 闘志抱きて 丘に立つ」高浜虚子の句を卒業の季節になると思い出します。これから進むべき道に熱い思いや高い志をもった若者の姿が目には浮かびます。卒業生の7名はどんな思いを胸に旅立っていくのでしょうか。門出に際し、心より祝福の言葉を送りたいと思います。

### 関本 正太くん

真面目で誠実、何事にも一生懸命な正太くんが印象的です。周りの状況を判断して行動しようとする責任感の強さはあらゆる場での発表する姿に見られました。将来は大学で地域活性化にむけて地域との関わりについて深く学びたいと考えている正太くん、これからの成長を期待しています。

### 竹内 萌七さん

几帳面で丁寧、いつも整理された工夫あるノートは模範となるものでした。目標を決めたらコツコツと努力を重ねる姿は学習にも音楽祭のピアノ伴奏にもありました。進路は子ども達にスポーツの喜びを伝える体育教師を目指しているとのこと。これからも努力を惜しまず、夢を実現させてください。

### 田邊 春輝くん

読書家の春輝くんは物事を多面的にとらえる視点をいつももっていました。これから人生の中で読書で得た知識があなたをきっと支えることになるでしょう。また、周りの人に対する優しい声かけや手を差し伸べる思いやりの気持ちも素敵でした。将来、本に関わる仕事に携われたらいいですね。どうぞ頑張ってください。

### 中川 舞さん

いつも前向きで冷静な判断のできる舞さん。生徒会長としての1年間は責任をもってその役割を果たしましたね。挨拶や感想は的をえていて抜群でした。また、下級生にも常に優しく声をかける姿も印象的でした。動物に関わる仕事を目指して、これからも頑張ってください。

裏面をご覧ください。

## 永野 透真くん

純粹でまっすぐな透真くん。目標を決めたらまっしぐらに進むところは、期末テストにむけての勉強にもありました。陸上部のキャプテンとして誰にでも分け隔てなく接することのできるその優しさをこれからも大切にしてください。将来、林業関係の仕事でこの地域を支えたいという思いをどうぞ実現させてください。

## 橋本 葵さん

何事も真面目に取り組む葵さん。自分のことよりも周りのことを気遣う優しさをもっていました。生徒会副会長として司会や進行を任される経験を重ねたことで判断力や積極性も育ってきていると感じます。将来は大好きな地元での就職を考えているとこと。広い視野で物事を考え、地域に貢献できる人になってください。

## 矢ノ川 英杜くん

興味・関心のあることには、深く探求していくことが得意な英杜くん。特に歴史では他の誰にも負けない知識をもっていましたね。あなたのぶれないまっすぐなところを知っているからこそ、英杜くんを認め支える仲間が周りにいるのでしょう。過疎化の進むこの地域を支えるために林業関係の仕事を目指しているというその志を応援しています。

卒業生の皆さんが今思い描いている夢は、これからの様々な出会いで変わってくるかもしれませんが、どのようなことがあろうと自分を信じて、一步前に踏み出してほしいと思います。

今年の卒業式は新型コロナウイルスの影響で地域の方の参加をご遠慮いただく少し縮小したものになりました。地域との関わりが多かっただけに残念でした。長い人生の中では予想もつかないことが突然やってくる場合があります。そんな時に何を大切にしなければならぬのか、物事の本質をしっかりと見極めて、自分で考えて判断し、行動したり表現したりしてください。あらゆることに挑戦してほしいと願っていますが、少し疲れた時は休むことも大切です。また違う景色が見えてきます。皆さんが後川中を離れても、いつも応援しています。どうぞ健康に気をつけて未来にはばたいてください。



## 卒業生の保護者の皆様へ

お子様の成長の節目、門出に際し、感慨もひとしおのことと存じます。心よりお喜び申し上げます。これまで、本校のあらゆる教育活動に対していつも温かく見守っていただきまして本当にありがとうございました。惜しみないご支援・ご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。今後も地域の学校として温かく見守っていただければ幸いです。保護者の皆様、お子様のご健康・ご多幸を心よりお祈りいたします。